

## 石川県輪島市三井町におけるリモートセンシングを活用したアテ林の抽出

○上原謙 [東京農業大学] △麻生恵 [東京農業大学]、下嶋聖 [東京農業大学]

キーワード：GIS リモートセンシング 農村 アテ林 文化的景観

農村の活性化やまちづくりには、地域における優れた景観の保全や形成が欠かせないものとなっている。2004年の景観法の制定や2005年の文化財保護法の改正によって位置づけられた文化的景観の概念は、まさにその重要性を示唆している。対象地である石川県輪島市三井町では、茅葺き民家や土蔵のほか、勾配のそろった切妻屋根に能登瓦を用いた統一感のある景観が広がっている。また三井町の生業としてアテ（ヒノキアスナロ）林業が営まれており、これも地域特有の景観をつくり上げる要素となっている。これらを初めとした地域の景観要素を具体的に抽出できれば、文化的景観の選定や景観法による景観地区指定がしやすくなり、そこから三井町の価値が再認識されることで、三井町の活性化や景観に対する意識の変化が起こせるものと考えられる。

そこで、GIS及びリモートセンシングを活用して画像解析、地形解析を行い、石川県輪島市三井町におけるアテ林の分布を抽出する。これによって、三井町において欠かすことのできないアテ林はどこにあるか、三井町の景観を評価する上で特に重要となるアテ林を明らかにすることを目的とした。

## 石川県輪島市三井町における地域活性化のためのフットパスマップの作成

○山野由里子 [東京農業大学] △麻生恵 [東京農業大学]

キーワード：地域振興 地域活性化

本制作では、石川県輪島市三井町を対象としフットパスの制作を行う。

本制作対象地である、石川県輪島市三井町では、年々文化的景観に関しての意識が高まりつつある。文化的景観は地域に特有の風土的特徴を示すものであることから、その保護に当たっては地域社会の積極的な保護に対する取り組みが必要不可欠であり、地域住民が日常的な身の回りの風景の価値を発見する意義を学ことができるよう努めることが必要不可欠となる。

本制作でとりあげるフットパスとは、地域の日常的な風景や文化を楽しめる散歩道であるが、同時に地域景観へのアクセス手段とも言われる。住民にとってこれまで単なる背景だった景観が、フットパスにより地域住民の地域資源に対しての意識向上のアクセス手段となりうるのである。さらに地域住民に郷土の歴史と文化を再認識してもらい、里山の環境保全を啓発するための方策の一つとしても有効であると考えられる。

以上のような背景を踏まえ、本制作では石川県輪島市三井町における自然・歴史・文化といったあらゆる資源を集約し、散策に適するルートと、適正利用のためのルールを示したフットパスマップを作成することを目的とする。